陳　情　文　書　表

受理番号・受理年月日及び件名	陳情第264号（８．11．19） 市立高倉台保育所の再編見直しを求める陳情
陳情の要旨	１.2027年５月公募、28年４月運営変更との拙速な計画を見直し、在園・入園予定の子供たちが慣れ親しんだ高倉台保育所で安心して卒園できるようにすること。 ２.「維持管理に必要な改修を本市が実施」する方針であることから、民間運営に変更する再編計画と切り離し、神戸市の責任で必要な改修を実施すること。 ３.保護者や子供たちとともに、地域住民の意見を聴いて、市立高倉台保育所が果たしてきた役割を維持し、高倉台地域の子育て環境の向上に責任を果たすこと。
陳情者の住所及び氏名	神戸市須磨区 曽我　節代　ほか１名
送付委員会	教育こども委員会

神戸市会議長 様

市立高倉台保育所の再編見直しを求める陳情

2026年 11月 19日

高倉台保育所保護者OB
須磨区
代表 弟我智代
須磨区
小澤隆行

神戸市立高倉台保育所が2028年4月に民間事業者の運営に変更される計画があることを、保護者の方に教えていただきました。

神戸市は、保育所の老朽化が進んでいることや、地域の保育ニーズが『減少』傾向にあることを理由に、０～２歳児までしか入れない保育園にすると説明しています。

保護者のみなさんは「慣れ親しんだ保育士や友達、日々の生活環境は、安心して園生活を送るために欠かせない」「せめて在園している子どもたちが慣れ親しんだ高倉台保育所で安心して卒園できるようにして欲しい」との思いで神戸市に要望されています。

私たち高倉台保護者OBとしても、思いを共有し、我が事として陳情しています。高倉台地域の住民からは「スーパーが撤退し、市バス路線も減らされて困っている」「こんな時に公立保育所まで高倉台から取り上げるのか」との声も出ています。

高倉台保育所は、高倉台地域に唯一の市立保育所として、どの子ども分け隔てなく迎え入れ「経験豊かな職員全員がひとりひとりの子どもを愛情を持って大切に保育」をすすめるとともに、地域の子育ての拠点として「地域との交流」を大切にされてきました。

私たちは高倉台保育所に愛着を持っていますが、保育所が果たしている役割や、急に計画を伝えられた保護者や子どもの立場を考えても、あまりにも拙速な計画と言わざるを得ません。よって、保護者や地域の願いに応えた内容に計画を見直すことを求めます。

陳情項目

1. 2027年5月公募、28年4月運営変更との拙速な計画を見直し、在園・入園予定の子どもたちが慣れ親しんだ高倉台保育所で安心して卒園できるようにすること。
2. 「維持管理に必要な改修を本市が実施」する方針であることから、民間運営に変更する再編計画と切り離し、神戸市の責任で必要な改修を実施すること。
3. 保護者や子どもたちとともに、地域住民の意見を聴いて、市立高倉台保育所が果たしてきた役割を維持し、高倉台地域の子育て環境の向上に責任をはたすこと。

以上